

ウミガメネットワーク

URL : <https://umigamenetmie.jimdofree.com/>

活動紹介

■活動場所

四日市市から津市までの海岸が主な活動場所。
出前講座は、幼稚園や保育所、小学校、中学校、
公民館等依頼があればどこへでも行く。



《ウミガメロード作り》

■活動日、活動頻度等

海岸での活動は 5～10 月はほぼ毎日。出前講座は年間に 30 回程度、環境イベントの参加は数回ほど、環境学習会とウミガメ報告会を年に各 1 回ずつ行っている。その他は不定期に活動する。

■活動内容など

1. 海岸にウミガメの上陸跡がないか探しながら釣りや散歩している人に話しかけ、上陸跡を見つけたらご連絡いただけるようにお願いします。
2. 上陸跡発見の連絡があれば、現地に行き確認する。上陸跡であれば、他の調査機関と共同で調査する。
3. 産卵が確認されたら杭やロープやネット等で産卵巣を保護し、保護看板を設置する。
4. 台風襲来前に看板や杭等の流失が予想される場合は、可能な範囲で一時撤去する。
5. 台風通過後、被害を確かめ産卵場所の現状復帰をする。
6. 子ガメが脱出する（砂から出る）くらいの時期になれば、海岸清掃しウミガメロードを作る。
7. 子ガメの脱出を確認するため、メンバーと連携して毎日産卵場所を見に行く。
8. 子ガメが脱出して 1～2 週間後に、孵化率調査を調査機関と共同で行う。
9. 春には専門家を招いて環境学習会（講演会）を、秋にはウミガメ報告会を行う。
10. 出前講座や環境イベントで紙芝居やパワーポイント等を用いてウミガメの話をして広報・啓発をする。
11. 混獲について漁業関係者にお話を伺う。
12. 産卵場所の植生調査を行なう。
13. 年 1 回、産卵シーズンまでに大がかりな海岸清掃を行なう。

代表者の想い

伊勢湾沿岸に 20 年後 30 年後もアカウミガメが産卵に来る事を願っている。ウミガメにとって大きな脅威は、混獲（意図せず魚網に捕獲される）と産卵場所である砂浜の減少である。漁業の大規模化や地球温暖化等により、現在絶滅危惧種であるウミガメがさらに生きにくい状況になっている。今後様々な団体と連携しながら、ウミガメの課題を少しでも改善できるような活動を行いたい。

PR

アカウミガメが伊勢湾沿岸に産卵している現状を多くの人に周知し、保護活動を進めていくべきだと考える。昨年も四日市市では、小中学校や学童保育所からの出前講座の依頼があり感謝している。現状を子どもたちに知ってもらいたいのでウミガメ講座のご希望があれば是非ご連絡いただきたい。

《楠中学校での出前講座》

